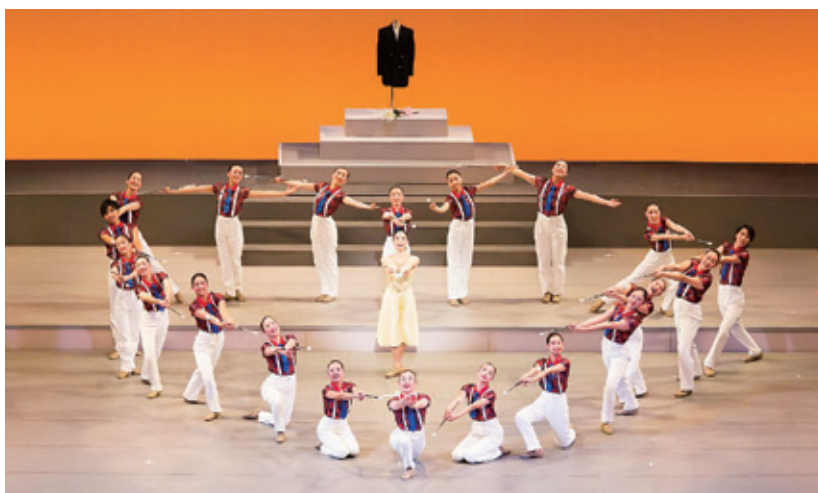


あなたが好き 出逢いに感謝

愛知淑徳学園理事長・学園長

小林素文



ナゴヤゴールドントワラズ創立50周年記念発表会

梅や桃の花が咲き誇る二月二八日、愛知淑徳高校の卒業式が行われました。新型コロナウイルスの影響から、歌も祝辞もない簡素な式となりましたが、卒業生たちは満場の拍手の中、胸を張り巣立っていきました。以下は、当日披露できなかった祝辞です。

*

本日は、皆で共に歌う最後の校歌斉唱がなく、在校生の心のもった合唱や合奏ありませんが、「卒業という美しさ別れかな」の歌の通り、愛知淑徳での様々な出逢いに感謝し、新たな出逢いを求め凛として旅立つ美しい別れの日です。皆さんの洋々たる未来を祝福します。

今年の一月五日「ナゴヤゴールドントワラズ創立50周年記念発表会」にお招きいただきました。

ゴールドントワラズは、「愛知淑徳で夢中に打ち込んだバトン」を卒業後も続けたい」との思いを実現すべく志水千代子さんが淑徳バトン部OGと共に結成した団体です。

一九七〇年の大阪万博での見事な演技を皮切りに、半世紀にわたり日本国内はもとより世界でも優秀な成績をあげてきたゴールドントワラズの『創立50周年記念発表会』での演技の数々は、しなやかで力強く、名古屋センチュリーホール満席の三千人を魅了いたしました。

この素晴らしい舞台は、二〇一五年におとずれた創立者志水千代子さんとの永遠の別れを乗り越え、淑徳OG服部美佐さんをはじめとするスタッフ一同が力を合わせて作り上げたものです。

当日のプログラムは

第一部 出逢いに感謝！バトンの夢！

第二部 志の水、50年の川の流れ

第三部 夢を、千代に未来に

「志の水」千代は志水千代子さんのこと。

記念発表会のタイトル「夢50。バトンが好き、あなたが好き、出逢いに感謝」は、志水千代子さんが最後に書き残した言葉「バトンやってよかったね。バトンがあったからこそこんなに楽しく生きるのことができる。バトンがあったから多くの

出合い」から作られたもの。

プログラムやタイトルにこめられた、淑徳時代を含めれば60年に及ぶ熱い友情に感動をいたしました。

思いがあってもそれを実現することは至難の業。それを50年にわたり継続することは大変なことです。山あり谷ありであったであろう道のりを乗り越えて「夢50。バトンが好き、あなたが好き、出逢いに感謝」といわれる卒業生たちは愛知淑徳の誇りです。

どうぞ、皆さんも夢や思いを抱き、自分が信じる道を貫いていってください。

*

その後3月に予定されていた中学校と大学の卒業式は中止となりました。来年は次の歌にあるような、歌声響くいつもの卒業式であることを願うばかりです。

つまだちて卒業式の歌歌つ

(清崎敏郎)

卒業の校歌に和せる老教授

(高浜年尾)

ゆく雲の遠きはひかり卒業歌

(古賀まり子)